

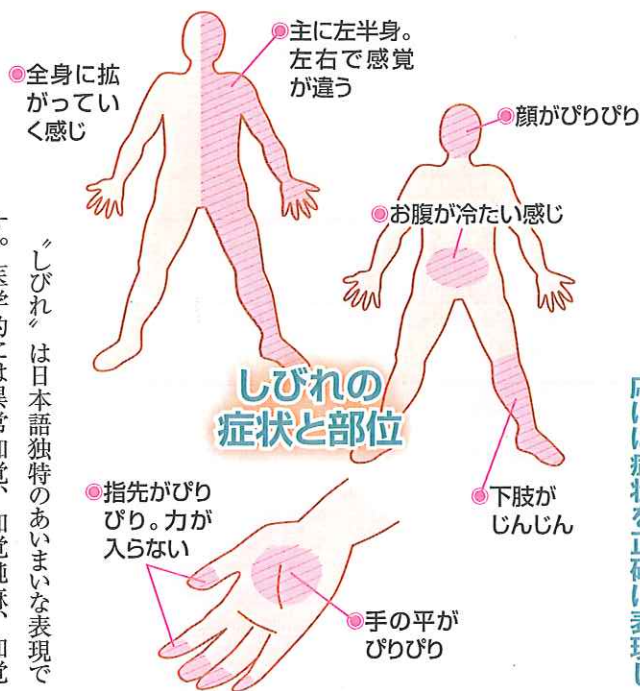
# 博慈会 老研一口伝言



未病に克つ<sup>⑨</sup>  
しびれ

## しびれの症状と部位を明らかにして 恐い病気から身を守るうー！

やっかいな未病に「しびれ」があります。本人はしびれの感覚を「びりびり、じんじん」などと訴えますが、医師になかなか正確に伝わりません。恐い病気が隠れているしびれの対応には症状を正確に表現し、しびれの部位をはっきりさせて診断を受けることが大切です。



「しびれ」は日本語独特のあいまいな表現です。医学的には異常知覚、知覚鈍麻、知覚過敏、筋力低下、麻痺などに区分されています。日本語ではこれらすべてを「しびれ」と表現してしまいます。しびれはこうした症状が混在した呼称であり、その原因は多種に分かれ、中には恐いしびれがあります。しびれには、①脳の障害、②脊髄・脊椎の障害、③末梢神経の障害、④筋肉の障害な

どからくるしびれがあります。原因も変性疾患、脳血管障害、神経障害、糖尿病などの代謝異常、ウイルスなどの感染によるもの、ビタミン不足の栄養障害、それに精神的な要因など様々です。

的確な診断のためには、しびれの感覚をわかりやすい自分の言葉でしっかり表すことが大切です。「びりびり」「じんじん」「左右で感覚が違う」「薄紙が張り付いている感じ」「感覚がしない」「冷たい感じがする」「力が入らない」などしびれの症状を見極めます。さらに部位はどこか。指の先か、下肢か、

手の平か、腹部か、全身か左右で違いがあるか、しびれの部位が急速に拡がっているかなどを明確にします。できれば人体図にしびれの部分を書いてみるのも診断に役に立ちます。(図参照)

しびれの症状と部位を次のように明らかにすることで、おおよその原因がわかります。①力が入らなかつたり感覚が鈍くなつたりするのは脳に障害がある場合が多い

②指先がびりびりと過敏に感じるのは頸椎からくる場合が多い  
③片側の下肢のしびれは腰椎が障害を受けている場合が多い  
④手袋をはめる部分やストッキングを履く部分にしびれが生じてくる場合は代謝性疾患やビタミン不足の場合がある  
⑤ウイルスや感染による場合はしびれの部位に変動が見られやすい

しびれは重症になる前触れの場合がありますから、しびれを少しでも感じたなら放置せず病院での確な検査を受け、早めに治療を始めましょう。

### 病気が疑われるしびれの症状チェック

- しびれの範囲が拡がっている
- しびれがだんだん強くなっている
- 手足に力が入らない
- 発熱を伴う
- 頭がしびれている感じがする
- 顔面、口唇がしびれる
- しびれに伴い他の合併症が出てきた
- しびれが長期継続している

しびれの診療は神経内科か整形外科、脳神経外科を訪れてください